

高等学校 令和 7 年度(2 学年用) 教科 国語 科目 古典探究 I

单位数： 3 单位

教科 国語 の目標：

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として、国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	説話『古今著聞集』『十訓抄』 【知識及び技能】 ・和歌の修辞を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を読み、登場人物の心情を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌に関心をもつ	・説話を読み味わう ・和歌について知る			○	【知識及び技能】 ・和歌の修辞を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を読み、登場人物の心情を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌に関心をもち、和歌の役割を考えようとしている。	○	○	○	8
	漢詩 【知識及び技能】 ・漢詩のきまりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・情景や心情を考えながら、作品を味わう 【学びに向かう力、人間性等】 ・想像力を働かせて鑑賞する	・漢詩のきまり ・漢詩の鑑賞			○	【知識及び技能】 ・漢詩のきまりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情景や心情を考えながら、作品を味わうことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・想像力を働かせて鑑賞しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	随筆『枕草子』 【知識及び技能】 ・敬語の知識を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に現れたものの見方や考え方を 知り、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人物像を思い描きながら作品を 読む。	・日記的章段を読み味わう ・敬語の用法 ・助動詞の活用			○	【知識及び技能】 ・敬語の知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に現れたものの見方や考え方を 知り、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人物像を思い描きながら作品を 読もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
2 学 期	思想『孟子』『荀子』『莊子』 【知識及び技能】 ・基本句法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を読み、儒家と道家の考 え方の特徴をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・思想家の考え方の違いに注目 する。	・儒家と道家の思想を理解する ・基本句法			○	【知識及び技能】 ・基本句法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を読み、儒家と道家の考 え方の特徴をとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・思想家の考え方の違いに注目 し、作品を読もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
	軍記『平家物語』 【知識及び技能】 ・勅撰和歌集について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・敬語の知識を使って作品を 読む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の心情を考えて 味わう	・軍記を読み味わう。 ・勅撰和歌集について知る。 ・助動詞の活用			○	【知識及び技能】 ・勅撰和歌集について理解 している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・敬語の知識を使って作品を 読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の心情を考えて、 作品を味わおうとしている。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
3 学 期	日記『蜻蛉日記』 【知識及び技能】 ・平安時代の女性と結婚につ いて知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の心情を読み取り、 自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代と平安時代の生活を比 較し、相違点や共通点を見つ ける。	・女流日記を読み味わう。 ・平安時代の女性と結婚につ いて知る。 ・助動詞の活用。			○	【知識及び技能】 ・平安時代の女性と結婚につ いて理解してい る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の心情を読み取り、 自分の考えを深 めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代と平安時代の生活を比 較し、相違点や共 通点を見つけようとしている。	○	○	○	22
	定期考査						○	○		1
							○	○		合計 105

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 国語 科目 現代文探究Ⅰ

教科：国語

科目：現代文探究Ⅰ

单位数： 2 单位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（A組：小笠原）（B組：石田）（C組：小笠原）（D組：柴田）（E組：石田）（F組：小笠原）（G組：石田）

使用教科書：（『精選論理国語』三省堂、『ちくま文学講読上級編』筑摩書房）

教科 国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として、国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文探究Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝える力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	「納得の構造」渡辺雅子 「情報の『メタ化』」外山滋比古 【知識及び技能】 ・文章の構成をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の主張を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容について、自分の経験や既知の 情報とを結び付けて考える。	・漢字・語彙 ・読解の方法			○	【知識及び技能】 ・文章の構成をとらえることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の主張を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容について、自分の経験や既知の情 報とを結び付けて考えることができる。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	「山月記」中島敦 【知識及び技能】 ・語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の意見と人の意見を区別し、根拠 を示しながら自分の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な媒体を使って情報を集め、集めた 情報を積極的に活用しようとする。	・漢字・語彙 ・意見文を書く ・推敲の方法 ・意見文を読みあつて、相互に評価 する。	○	○		【知識及び技能】 ・新たに得た情報を情報を既知の情報と合 わせて整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の意見と人の意見を区別し、根拠を 適切に示しながら自分の意見を表現するこ うができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な媒体を使って情報を集め、集めた情 報を積極的に活用する。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
2 学期	「ミロのビーナス」清岡卓行 「空白の意味」原研哉 【知識及び技能】 ・文章の構成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を活用し、筆者の考えを理 解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経 験や既知の情報を使って理解を深め る。	・漢字・語彙 ・筆者の主張と具体例			○	【知識及び技能】 ・文章の構成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を活用し、筆者の考えを理解す ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経験や既 知の情報を使って理解を深めようとしてい る。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	「舞姫」森鷗外 【知識及び技能】 ・語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語の展開をとらえ、要旨を把握 する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な媒体を使って情報を集め、集 めた情報を積極的に活用しようとする。	・漢字・語彙 ・意見文を書く ・推敲の方法 ・意見文を読みあつて、相互に評価 する。	○	○		【知識及び技能】 ・擬古文体に触れ、語彙を増やしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語の展開をとらえ、要旨を把握す ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な媒体を使って情報を集め、集めた 情報を積極的に活用する。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
3 学期	「『であること』と『すること』」 丸山真男 【知識及び技能】 ・語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論の展開をとらえ、要旨を把握す る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経 験や既知の情報を使って理解を深め る。	・漢字・語彙 ・論旨をとらえる			○	【知識及び技能】 ・語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論の展開をとらえ、要旨を把握す ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経験や既 知の情報を使って理解を深めようとしてい る。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1 合計 70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者： （A組： 斎藤） （B～D組： 関口） （E組： 斎藤） （F組： 関口） （G組： 斎藤） （ 組： ）

使用教科書： （ 第一学習社 『高等学校 公共』『最新公共資料集』 ）

教科 公民 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 現代の諸課題を捉え考察し倫理的主体などとして活動するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、各国が相互に主権を尊重し、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、何を考え行動すればよいかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって学習していくことの意義を考察する。	●社会に生きる私たち ●社会に生きる私たち ●個人の尊厳と自主・自律 ●キャリア形成と自己実現 ●伝統や文化とのかかわり ●多様性と共通性	【知識及び技能】 公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、何を考え行動すればよいかを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって学習していくことの意義を考察できる。	○	○	○	5
	【知識及び技能】 個人や社会全体の幸福を重視する考え方について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らも他者とともに納得できる解決方法を見出すことに考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての生き方あり方について現代の諸課題を主体的に考察する。	●人間と社会のあり方についての見方・考え方 ●実社会の事例から考える～環境保護 ●実社会の事例から考える～生命倫理 ●公共的な空間を形成するための考え方 ●よりよく生きる行為者として活動するために	【知識及び技能】 個人や社会全体の幸福を重視する考え方について学ぶことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自らも他者もともに納得できる解決方法を見出すことに考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての生き方あり方について現代の諸課題を主体的に考察することができる。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 社会を構成してきた先人の取り組み、歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人間の尊厳と平等、個人の尊重について基本的原理について学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的原理が現代社会でどのような形で生かされているかを考察する。	●人間の尊厳と平等 ●個人の尊厳と自主・自律（「公共的な空間をつくる私たち」から） ●個人の尊重 ●民主政治の基本原則 ●法の支配 ●自由・権利と責任・義務 ●世界のおもな政治体制 ●日本国憲法に生きる基本的原理	【知識及び技能】 先人の取り組み、歴史を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 人間の尊厳と平等、個人の尊重について基本的原理について学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的原理が現代社会でどのような形で生かされているか考えることができる。	○	○	○	10
2 学	【知識及び技能】 法やルール の意義、役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題解決に向けて、ルール作成、利用等を主体的に学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決していく意義を考察する。	●私たちの生活と法 ●法と基本的人権 ●自由・平等と法・規範 ●法をよりよく変えていくために ●さまざまな契約と法 ●消費者の権利と責任 ●裁判所と人権保障	【知識及び技能】 法やルール の意義、役割を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題解決に向けて、ルール作成、利用等を主体的に学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決していく意義を考察することができる。	○	○	○	8

期	【知識及び技能】主権者である国民と国会・内閣の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】政治課題に、私たちの意思を反映させるにはどうすればよいか考察する。	●選挙の意義と課題 ●政治参加と世論形成 ●国会と立法 ●内閣と行政の民主化 ●地方自治と住民の福祉 ●国際連合の役割と課題 ●平和主義と安全保障 ●核兵器の廃絶と国際平和	【知識及び技能】主権者である国民と国会・内閣の関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】政治課題に、私たちの意思を反映させるにはどうすればよいか、考察することができる。	○	○	○	15
3 学 期	【知識及び技能】経済の基本的な仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】人々の経済活動、日本経済のあゆみと、現代の経済の課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】変化する現代社会において私たちが豊かに暮らすための指標について考察する。	●私たちと経済 ●労働者の権利と労働問題 ●企業の活動 ●市場経済と経済運営 ●市場経済のしくみ ●経済発展と環境保全 ●経済発展と国民福祉 ●金融の意義や役割 ●政府の経済的役割と租税の意義 ●社会保障と国民福祉 ●国際分業と国際貿易体制 ●国際収支と為替相場 ●国際社会における貧困や格差	【知識及び技能】経済の基本的な仕組みを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】人々の経済活動、日本経済のあゆみと、現代の経済の課題について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】変化する現代社会において私たちが豊かに暮らすための指標について考察することができる。	○	○	○	21
	【知識及び技能】持続可能な社会を築き上げるために必要なことは何か、考察する。 【思考力、判断力、表現力等】地球環境問題が国際的な問題になっていることやその解決に向けての取り組みを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決していく意義を考察する。	●地球環境問題	【知識及び技能】持続可能な社会を築き上げるために必要なことは何か、考察することができる。 【思考力、判断力、表現力等】地球環境問題が国際的な問題になっていることやその解決に向けての取り組みを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決していく意義を考察することができる。	○	○	○	3
	合計						70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 選択

教科担当者： 畑島 宗之

使用教科書： （『詳説世界史』山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】文明誕生の条件、各地域の古代文明の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】おもな古代文明の立地について考察するとともに、文明による違いを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】古代文明に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明 ・教材 アカデミア世界史（資料集） 世界史用語集(用語集) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌溉農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、古代文明の特質を多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元:中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】中央ユーラシアの遊牧民の軍事力と東アジアの王朝の変容が連動していることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】遊牧民族の動きが東アジアを含めた地域に大きな影響を及ぼしたことを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】遊牧という生活様式により生じた軍事力とその影響に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 中央ユーラシアー草原とオアシスの世界 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成 ・教材 アカデミア世界史（資料集） 世界史用語集(用語集) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を理解している。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、遊牧民の軍事力と東アジアの動きを多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】中央ユーラシアと東アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元:南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】南アジアの古代王朝の変遷と東南アジアにおける国家形成の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】仏教などの宗教の成立と各王朝との関係を多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境が豊かな世界における歴史的な動きに対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開 ・教材 アカデミア世界史（資料集） 世界史用語集(用語集) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】南アジアで生まれたさまざまな宗教・文化が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、インド・東南アジアの特徴を多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】南アジア世界と東南アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元:西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】イランの各王朝とギリシア・ローマ世界の特徴を理解	・指導事項 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家	【知識・技能】イラン諸国家・アテネの民主政・ギリシア文化・ローマの地中海支配・キリスト教の成立について理解する。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、西				

2 学 期	する。 【思考力、判断力、表現力等】イランの各王朝が東西文明間で担った役割とギリシア・ローマが近代ヨーロッパに及ぼした影響について多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】乾燥した地域に発生した様々な動きに対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展 ・教材 アカデミア世界史（資料集） 世界史用語集（用語集） ・一人1台端末の活用 等	アジアとギリシア・ローマ世界の特徴を多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】地中海周辺地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元:イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】イスラーム世界の成立とヨーロッパ世界の成立を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】イスラーム勢力が強大となったこと、東西ヨーロッパの基礎が築かれたことを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】地中海を挟んだ二つの世界に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成 ・教材 アカデミア世界史（資料集） 世界史用語集（用語集） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】イスラーム教の成立と拡大、東西ヨーロッパ世界の成立について理解している。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、イスラーム世界の特徴を多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】イスラーム世界とヨーロッパ世界の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元:イスラーム教の伝播と西アジアの動向 【知識及び技能】イスラーム教が中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカに受容された経緯と西アジアにおける政治・経済・社会の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】上記地域へのイスラーム教の拡大の背景・影響を多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】イスラーム世界の拡大に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向 ・教材 アカデミア世界史（資料集） 世界史用語集（用語集） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、イスラーム世界の拡大を多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】イスラーム教の伝播と西アジアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	単元:ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識及び技能】ヨーロッパにおけるカトリック教会の普遍的な権威と各国の動きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】各国の盛衰やその宗教との関係を多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】近代ヨーロッパにつながる動きに対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2 東ヨーロッパ世界の展開 3 西ヨーロッパ世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化 ・教材 アカデミア世界史（資料集） 世界史用語集（用語集） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況、ビザンツ帝国の盛衰、封建社会の衰退、キリスト教の影響について理解している。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、中世ヨーロッパの特徴を多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】中世ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
							70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理・歴史 科目 日本史探究

教科： 地理・歴史 科目： 日本史探究 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（ABC組①：酒匂 港）（ABC組②：酒匂 港）（DE組①：酒匂 港）（DE②組：酒匂 港）（FG組：酒匂 港）

使用教科書：（日本史探究 『詳説日本史』（山川出版社））

教科 地理・歴史 の目標：

【知識及び技能】日本の歴史の展開を理解するとともに、調査や諸資料を活用して、様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】歴史に関わる事象の意味や意義、伝統・文化の特色などを、時期・年代による推移、相互の関連に着目して多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し、解決について構想する。考察・構想を効果的に発表したり討論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究する態度を養うとともに、多面的・多角的な考察と深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の歴史への愛情、他国の歴史・文化への理解と尊重の重要性を自覚し、国際化の中で変動する現代社会で活躍する資質を涵養する。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ②織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。 ③新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 ④中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	・指導事項 1 南蛮文化との接触 2 織豊政権 3 桃山文化 ・教材 教科書、日本史総合テスト（山川出版社）、新詳日本史（浜島書店）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、文化、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	①江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。 ②江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。 ③幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村営・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 ④17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ⑤諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。 ⑥幕藩体制の安定期に農業・商工業などの発展について、諸藩間相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 ⑦全国市場の確立や都市の発達で商品流通が拡大し、各地で風土に応じた特産物が生まれたことを理解する。 ⑧経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。 ⑨儒学の特徴を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。	・指導事項 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化 ・教材 教科書、日本史総合テスト（山川出版社）、新詳日本史（浜島書店）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】幕藩体制の確立、貿易の統制と対外関係、産業の発達、近世の社会と文化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】幕藩体制の確立、貿易の統制と対外関係、産業の発達、近世の社会と文化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】幕藩体制の確立、貿易の統制と対外関係、産業の発達、近世の社会と文化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	10
	①農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。 ②幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態について理解する。 ③江戸中期に確立した洋学や国学、新たななかたちで展開する文学・芸能・美術について、社会の変容にともなう幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 ④幕府や藩による武士の教育に加え、民間でも私塾や寺子屋が開かれた背景について理解する。 ⑤欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対応を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。 ⑥近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、諸藩の浮上という地方からの視点から考察する。 ⑦化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 ⑧都市の民衆を中心とする芸能などが盛んになったことを理解する。	・指導事項 1 幕政改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 ・教材 教科書、日本史総合テスト（山川出版社）、新詳日本史（浜島書店）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】幕府政治の動揺と諸藩の動向、飢饉や一揆の発生、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】幕府政治の動揺と諸藩の動向、飢饉や一揆の発生、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】幕府政治の動揺と諸藩の動向、飢饉や一揆の発生、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	①国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ②江戸幕府の威信低下と権威の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。 ③幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。 ④近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	・指導事項 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足 ・教材 教科書、日本史総合テスト（山川出版社）、新詳日本史（浜島書店）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	12

	①明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家の統一過程を理解する。 ②欧米文化・思想の導入と近代化政策に対する士族反乱・農民一揆の発生と、言論闘争への転換を理解する。 ③明治初期の対外政策について、欧米への対応とアジアに対する外交政策の違いについて考察する。 ④政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ⑤大日本帝国憲法の性格について具体的・多角的に理解する。	・指導事項 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の形成 ・教材 教科書、日本史総合テスト（山川出版社）、新詳日本史（浜島書店）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】明治維新やそれともなう文明開化の風潮、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】明治維新やそれともなう文明開化の風潮、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文化に関する問いに対して、歴史的なものを見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】明治維新やそれともなう文明開化の風潮、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文化の特色に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○ ○ ○ 10
	定期考査		○ ○	1
	①東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 ②開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。 ③第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。 ④第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア諸国との関係や政党内閣の成立などに関連させて考察する。 ⑤ワシントン体制に至る国際協定の進展など国際環境の転換を、日本の立場に見直し理解する。 ⑥市民主義的風潮による政党政治の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。	・指導事項 1 日清日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 ・教材 教科書、日本史総合テスト（山川出版社）、新詳日本史（浜島書店）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協定体制における日本の立場や対外政策の変化、ブルジョア体制からワシントン体制に至る過程や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 【思考・判断・表現】議院が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて、大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジアの諸国が日本の対外政策の変化によって受けたもの、大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもっと重要な役割、対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、学習改善しようとしている。	○ ○ ○ 10
3学期	①日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 ②近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。 ③伝統的な文化のうねい欧米文化を摂取するなど二元性をもって成立した近代文化の特徴について、政治・経済・外交などの視点をもつて考察する。 ④義務教育の普及とともに、国家主義的教育が浸透していくことを理解する。 ⑤労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。 ⑥大衆文化の前提となる教育の普及・発展、マスメディアの発達について理解する。	・指導事項 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化 ・教材 教科書、日本史総合テスト（山川出版社）、新詳日本史（浜島書店）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】産業の発展の背景や影響などに着目して、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生産の変化が社会問題を生み出したことを理解している。国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡大について、諸資料から情報を正確に捉える技能を身につけている。学習・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との異なりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 【思考・判断・表現】地域社会の変化などを含む社会全体の変化がもたらされたことと、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。学校教育の必要性の説か方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増設や生活の変化など、社会環境の変化について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。マスメディアや出版の発達によって隆起した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	○ ○ ○ 8
	定期考査		○ ○	1
				合計
				70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位
対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組
教科担当者：（ A組：宮前 ）（ B組：兼近 ）（ C組：田村 ）（ D組：田平 ）（ E組：田村 ）（ F組：兼近 ）（ G組：田平 ）
使用教科書：（ 数研出版 高等学校 数学Ⅱ ）
教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力。座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力。関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 式と証明 【知識及び技能】 いろいろな式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、三角比を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 いろいろな式を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、いろいろな式の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に着ける。 【学びに向かう力、人間性等】 いろいろな式について、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	指導項目 1 3次の乗公式と因数分解 2 二項定理 3 整式の除法、約数と倍数 4 分数式の計算 5 恒等式 6 等式の証明 7 不等式の証明 8 複素数とその計算 9 2次方程式の解 10 解と係数の関係 11 剰余の定理と因数定理 12 高次方程式 教材等 高等学校数学Ⅱ サクシード数学Ⅱ+B	【知識・技能】 ①式の展開や因数分解をすることができる。 ②多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解することができる。 ③数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 ④二次方程式の解の種類及び解と係数の関係について理解することができる。 ⑤因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①数の範囲や式の性質に着目し、いろいろな式を用いて多面的に考察する力を身に付けている。 ②問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①いろいろな式を用いて事象を考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	B 単元 図形と方程式 【知識及び技能】 図形と方程式における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う	指導項目 1 直線上の点の座標 2 平面上の点の座標 3 直線の方程式 4 2直線の平行・垂直 5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円の位置関係 8 軌 跡 9 不等式の表す領域 教材等 高等学校数学Ⅱ サクシード数学Ⅱ+B	【知識及び技能】 ①2点間の距離、線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。 ②与えられた条件を満たす直線や円の方方程式の求め方を理解している。 ③軌跡の概念を理解し、座標を用いて、計算により軌跡を求めることができる。 ④不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①図形の方程式を用いて、図形の性質や位置関係について考察する力を身に付けている。 ②問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①事象を図形の方程式を用いて、図形の性質や位置関係について考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	C 単元 三角関数 【知識及び技能】 三角関数における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	指導項目 1 一般角 2 弧度法 3 一般角の三角関数 4 三角関数の性質とグラフ	【知識及び技能】 ①角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解することができる。 ②三角関数の性質やグラフについて理解し、事象を数学的に表現・処理したりする力を養う。				

2 学 期		に、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、三角関数を論理的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う	4 三角関数の相互関係 5 三角関数のグラフ 6 三角関数を含む方程式・不等式 7 三角関数の加法定理 8 2倍角・半角の公式 9 三角関数の合成 教材等 高等学校数学Ⅱ サクシード数学Ⅱ+B	②三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ③三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解することができる。 ④三角関数の加法定理や2倍角の公式、合成について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。 ②問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①事象を三角関数を用いて、図形の性質や位置関係について考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	22
	定期考查				○	○		1
	D 単元 指数・対数関数 【知識及び技能】 指数関数・対数関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 指数・対数関数について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、三角関数を論理的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う	指導項目 1 0や負の整数の指数 2 指数の拡張 3 指数関数 4 対数 5 対数関数 6 常用対数 教材等 高等学校数学Ⅱ サクシード数学Ⅱ+B	【知識及び技能】 ①指数が整数の場合の累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。 ②累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。 ③指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。 ④指数関数・対数関数の変化やグラフの特徴について理解している。 ⑤底と1の大小に注意して、指数関数や対数関数を含む不等式を解くことができる。 ⑥対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 ②置き換えによって指数関数や対数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 ③指数と対数を相互に連付けて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①指数関数・対数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとしている。 ②やや複雑な指数・対数を含む計算や、方程式・不等式に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	15	
定期考查				○	○		1	
3 学 期	E 単元 微分法と積分法 【知識及び技能】 微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う	指導項目 1 平均変化率と微分係数 2 導関数 3 接線の方程式 4 関数の増減 5 方程式・不等式への応用 6 不定積分 7 定積分 8 面積と定積分 教材等 高等学校数学Ⅱ サクシード数学Ⅱ+B	【知識及び技能】 ①微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 ②導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。 ③不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①関数とその導関数との関係について考察することができる。 ②関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 ③微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	28	
	定期考查				○	○		1
						○	○	合計 140

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教 科： 数学 科 目： 数学B 単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組
教科担当者：（ A組：岡崎、瀧津 ） （ B組：木原、瀧津、宮前 ） （ DE組：木原、瀧津、宮前 ） （ F組：木原、田村、宮前 ）
使用教科書：（ 数研出版 高等学校 数学B ）
教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元：数列 【知識及び技能】 数列の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、数列の性質に着目し、数列の傾向を推測し判断したり、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数列のよさを認識し数列を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・数列と一般項 ・等差数列 ・等差数列の和 ・等比数列 ・等比数列の和 ・数列の第1時～第8時の学習内容についての復習と定着	【知識・技能】 ①数列の定義、表記について理解している。 ②等差数列の公差、一般項などを理解し、条件から数列の一般項を決定できる。また等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。 ③等比数列の公比、一般項などを理解し、条件から数列の一般項を決定できる。また等比数列の和の公式を、適切に利用して数列の和が求められる。 【思考・判断・表現】 ①数の並び方からその規則性を推定して、数列の一般項を考察できる。 ②等差数列、等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。 ②等差数列、等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等差数列、等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	A 単元：数列 【知識及び技能】 数列の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、数列の性質に着目し、数列の傾向を推測し判断したり、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数列のよさを認識し数列を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・和の記号Σ ・階差数列 ・いろいろな数列の和 ・数列の第11時～第16時の学習内容についての復習と定着	【知識・技能】 ④記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められる。また第k項をkの式で表して、初項から第n項までの和が求められる。 ⑤階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 【思考・判断・表現】 ③数列の和を記号Σで表して、和の計算を簡単にすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③自然数の和の公式を用いて自然数の2乗の和の公式が導けることに興味をもち、自然数の3乗の和の公式を導こうとする。また、さらに高い次数の累乗の和の公式についても考察しようとする。	○	○	○	13

	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 単元：数列 【知識及び技能】 数列の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、数列の性質に着目し、数列の傾向を推測し判断したり、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数列のよさを認識し数列を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・漸化式 ・数学的帰納法 ・数列の第19時～第24時の学習内容についての復習と定着	【知識・技能】 ⑥漸化式の意味を理解し、具体的に項を求めることができる。 ⑦数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。 【思考・判断・表現】 ④初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。 ⑤自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効であることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。 ⑤数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	○	○		10
	定期考査			○	○		1
	B 単元：統計的な推測 【知識及び技能】 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、統計的な推測について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 統計的な推測のよさを認識し、統計的な推測を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・確率変数と確率分布 ・確率変数の期待値と分散 ・確率変数の和と積 ・二項分布 ・統計的な推測の第1時～第13時の学習内容についての復習と定着	【知識・技能】 ①確率変数や確率分布について、用語の意味を理解し確率変数の確率分布を求めることができる。 ②確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ③同時分布の意味を理解し、2つの確率変数の同時分布を求めることができる。 ④二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 ②確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係がとらえられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。 ②2つの確率変数の和や積の期待値、分散に関する種々の公式を、確率変数が独立であるかどうかに注意しながら導こうとする。 ③二項分布に興味・関心をもち、さいころを投げるなどの具体的事項について考察しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	B 単元：統計的な推測 【知識及び技能】 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、統計的な推測について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 統計的な推測のよさを認識し、統計的な推測を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・正規分布 ・母集団と標本 ・標本平均の分布 ・推定 ・仮説検定 ・統計的な推測の第15時～第30時の学習内容についての復習と定着	【知識・技能】 ⑤確率密度関数や分布曲線の定義を理解し、連続型確率変数について、確率を求めることができる。 ⑥母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することを理解し、母平均、母標準偏差を求めることができる。 ⑦母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。 ⑧推定、仮説検定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。 【思考・判断・表現】 ③正規分布の特徴を理解し、様々な視点からとらえることができる。 ④母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 ⑤推定や信頼区間の考え方がわかる。 ⑥仮説検定の考え方がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④連続型確率変数について、離散型確率変数との違いに注目して捉えようとする。 ⑤母集団や標本の特徴を理解しようとする。 ⑥母平均や母比率の推定に関心を示し、信頼区間の幅と標本の大きさや信頼度との関係を考察しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～G組

教科担当者：（A組：西）（B組：西）（C組：神崎）（D組：西）（E組：神崎）（F組：西）（G組：西）

使用教科書：（第一学習社 高等学校 新物理基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】物理現象をを日常生活と関連付けて考えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】物理に関わる事象について積極的に学習し、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・物体の運動と様々なエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。	・物体の運動と様々なエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。	・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。 ・学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○物体の運動 【知識及び技能】 物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 物理量と単位、有効数字 速さと速度、加速度 等加速度直線運動 自由落下 鉛直投射 水平投射 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	○力と運動の法則 ○仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 力と質量 いろいろな力 力の合成と分解 力のつりあい 運動の3法則 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学期	○熱（熱とエネルギー） 【知識及び技能】 熱とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 温度と熱 熱平衡 熱量の保存 物質の三態 熱と仕事 エネルギーの変換と保存 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・エネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・物体のエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	○波動（波の性質、音波） 【知識及び技能】 波動現象について、日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 波の基本的な性質などについて主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 波の表し方 横波と縦波 波の重ね合わせ 定常波、波の反射 音の速さと3要素 音の性質 弦の固有振動 気柱の固有振動 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・波動の現象についてを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・波の基本的な性質について、観察、実験を通して探求し、波の表し方や音波における規則性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	○電気（電荷と電流、磁場） 【知識及び技能】 電気の性質とそのエネルギーについて、日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 電気の性質とエネルギーについて主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 電流と電気抵抗 抵抗の接続 電力量と電力 磁場 モーターと発電機 交流の発生と利用 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・電気の性質とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・電気の性質とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

3 学期	則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 電気の性質やそのエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		合計 70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学

教 科： 理科 科 目： 化学 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 選択

教科担当者： 泉水 裕二

使用教科書： （ 第一学習社 化学 183第一化学708 ）

教科 理科 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】化学が果たす役割について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】化学が果たす役割について、観察、実験などを通して探究し、見いだして表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】化学が果たす役割に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学が果たす役割についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。	化学が果たす役割について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	化学が果たす役割について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 電池と電気分解 【知識及び技能】化学反応とエネルギーについて、電池、電気分解のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、電池、電気分解について見いだして表現する 【学びに向かう力、人間性等】電池、電気分解に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 酸化還元反応の復習 金属の酸化還元反応 電池 電気分解 ・教材 セミナー（問題集） サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】化学反応とエネルギーについての実験などを通して、電池、電気分解の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】電池、電気分解について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】電池、電気分解について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 単元 物質の状態 【知識及び技能】物質の状態とその変化について、状態変化を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質の状態とその変化について、観察、実験などを通して探究し、状態変化について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】状態変化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 物質の三態 気体・液体間の状態変化 ・教材 セミナー（問題集） サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】物質の状態とその変化についての実験などを通して、状態変化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】状態変化について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】状態変化について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	C 単元 気体の性質 【知識及び技能】物質の状態とその変化について、気体の性質を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質の状態とその変化について、観察、実験などを通して探究し、気体の性質について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】気体の性質に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 気体 気体の状態方程式 ・教材 セミナー（問題集） サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】物質の状態とその変化についての実験などを通して、気体の性質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】気体の性質について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】気体の性質について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 単元 溶液の性質 【知識及び技能】溶液と平衡について、溶解平衡および溶液とその性質を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	・指導事項 溶液 希薄溶液の性質 コロイド （問題集） （図説）	【知識・技能】溶液と平衡についての実験などを通して、溶解平衡および溶液とその性質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な				

2 学 期	察, 実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】溶液と平衡について, 観察, 実験などを通して探究し, 溶解平衡および溶液とその性質について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】溶解平衡および溶液とその性質に関する事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。	・教材 セミナー (問題集) サイエンスビュー (図説) ・一人1 台端末の活用 等	な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】溶解平衡・溶液とその性質について, 問題を見いだし見通しをもって実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】溶解平衡および溶液とその性質について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	D 単元 固体の構造 【知識及び技能】物質の状態とその変化について, 固体の構造を理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質の状態とその変化について, 観察, 実験などを通して探究し, 固体の構造について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】固体の構造に関する事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 結晶 金属結晶の構造 イオン結晶の構造 分子結晶と共有結合の結晶 ・教材 セミナー (問題集) サイエンスビュー (図説) ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】物質の状態とその変化についての実験などを通して, 固体の構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物質の状態とその変化についての実験などを通して, 固体の構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】固体の構造について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	E 単元 化学反応と熱・光 【知識及び技能】化学反応とエネルギーについて, 化学反応と熱・光のことを理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応とエネルギーについて, 観察, 実験などを通して探究し, 化学反応と熱・光について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学反応と熱・光に関する事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 反応とエンタルピー変化 ヘスの法則 光とエネルギー ・教材 セミナー (問題集) サイエンスビュー (図説) ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】化学反応とエネルギーについての実験などを通して, 化学反応と熱・光の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】化学反応と熱・光について, 問題を見いだし見通しをもって実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】化学反応と熱・光について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	F 単元 化学反応と熱・光 【知識及び技能】化学反応とエネルギーについて, 化学反応と熱・光のことを理解し, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応とエネルギーについて, 観察, 実験などを通して探究し, 化学反応と熱・光について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学反応と熱・光に関する事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 教材 セミナー (問題集) サイエンスビュー (図説) ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】化学反応とエネルギーについての実験などを通して, 化学反応と熱・光の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】化学反応と熱・光について, 問題を見いだし見通しをもって実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】化学反応と熱・光について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	G単元 化学反応の速さ 【知識及び技能】化学反応と化学平衡について, 反応速度のことを理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】反応速度について, 問題を見いだし見通しをもって実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究している。 【学びに向かう力、人間性等】反応速度について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	・指導事項 反応の速さ 反応速度を変える条件 反応のしくみ ・教材 セミナー (問題集) サイエンスビュー (図説) ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】化学反応と化学平衡についての実験などを通して, 反応速度の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】反応速度について, 問題を見いだし見通しをもって実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】反応速度について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5

3 学 期	H 単元 化学平衡 【知識及び技能】化学反応と化学平衡について、化学平衡とその移動を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、化学平衡とその移動について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学平衡とその移動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 可逆反応と化学平衡 平衡の移動 ・教材 セミナー（問題集） サイエンスビュー（図説） ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】化学反応と化学平衡についての実験などを通して、化学平衡とその移動の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】化学平衡とその移動について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】化学平衡とその移動について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	I 単元 水溶液中の化学平衡 【知識及び技能】化学反応と化学平衡について、電離平衡のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、電離平衡について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】電離平衡について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・指導事項 ・教材 セミナー（問題集） サイエンスビュー（図説） ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】化学反応と化学平衡についての実験などを通して、電離平衡の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】電離平衡について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】電離平衡について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		70
							合計

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 理科 科目 生物

教 科： 理科 科 目： 生物 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 2 学年 A 組～ G 組 選択者
教科担当者： （ABC組：宮下） （FG組：宮下）
使用教科書： （ 数研出版 生物 104数研生物704 ）

教科 理科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】生物の共通性と多様性、構造と機能について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】生物の共通性と多様性、構造と機能について、観察、実験などを通して探究し、見いだして表現する。
【学びに向かう力、人間性等】生物の共通性と多様性、構造と機能に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の共通性と多様性、構造と機能についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。	生物の共通性と多様性、構造と機能について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	生物の共通性と多様性、構造と機能について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 生物の進化 【知識及び技能】生命の起源および生物の変遷と進化のしくみ、分子進化や種概念と分類から生物の多様性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】進化・系統について、動画や図説などを通して探究し、系統や生物多様性について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】進化・系統に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 細胞とDNAの復習 生物の進化の変遷 生物の分類と系統 ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説） ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】生命の起源および生物の変遷と進化のしくみ、分子進化や種概念と分類から生物の多様性を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な資料などを利用して理解を深めている。 【思考・判断・表現】進化・系統についてその共通性と多様性を見いだし見通しをもって資料の活用などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】進化・系統について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	B 単元 生命現象と物質 【知識及び技能】細胞と分子についてを理解するとともに、呼吸や光合成などの代謝についての理解とともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】細胞と分子、光合成や呼吸などの代謝について、観察、実験などを通して探究し、生命活動としての代謝について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】細胞と分子、代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 細胞と分子代謝 ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説） ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】細胞と分子についてを理解するとともに、呼吸や光合成などの代謝についての理解とともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】細胞と分子、光合成や呼吸などの代謝について、問題を見だし、見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】細胞と分子、代謝に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	C 単元 遺伝情報の発現と発生 【知識及び技能】DNAの構造から複製、タンパク質合成、遺伝情報の発現、生殖と発生についてを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】DNAの構造から複製、タンパク質合成、遺伝情報の発現、生殖と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報と発生について生命現象を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】遺伝情報の発現と発生に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 遺伝情報の発現 発生 ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説） ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】DNAの構造から複製、タンパク質合成、遺伝情報の発現、生殖と発生などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】DNAの構造から複製、タンパク質合成、遺伝情報の発現、生殖と発生について、問題を見だし、見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】遺伝情報の発現と発生について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	D 単元 生物の環境応答 【知識及び技能】動物の反応と行動や植物の環境応答、動物・植物の構造と機能について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】動物の反応と行動や植物の環境応答について、実験・動画や図説などを通して探究し、その構造と機能について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】動物の反応と行動や植物の環境応答	・指導事項 刺激の受容 ニューロンとその興奮 情報の統合 刺激への反応 動物の行動 植物の生活と植物ホルモン 発芽・成長の調節 器官の分化と花芽形成の調節 環境の変化に関する応答 配偶子形成と受精 ・教材 セミナー（問題集）	【知識・技能】動物や植物の構造と機能について理解するとともに科学的に探究するために必要な資料などを利用して理解を深めている。 【思考・判断・表現】動物の反応と行動や植物の環境応答について、実験・動画や図説などを通して見通しをもって資料の活用などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】動物の反応と行動や植物の環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとし	○	○	○	13

	に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	スクエア（図説） ・一人1台端末の活用 等	ている。				
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	E 単元 生態と環境 【知識及び技能】生物群集と生態系についてを理解するとともに、個体群内や異なる種の個体群間の関係、生態系と物質生産と物質循環、人間生活と生態系についての理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生物群集と生態系についてを理解するとともに、個体群内や異なる種の個体群間の関係、生態系と物質生産と物質循環、人間生活と生態系を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生物群集と生態系についてを理解するとともに、個体群内や異なる種の個体群間の関係、生態系と物質生産と物質循環、人間生活と生態系について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 個体群内の構造と性質 個体群内個体群間の関係 生態系の物質生産と物質循環 生態系と人間生活 ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生物群集と生態系についての理解とともに、個体群内や異なる種の個体群間の関係、生態系と物質生産と物質循環、人間生活と生態系についての理解と科学的に探究するために必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】生物群集と生態系についてを理解し、問題を見いだし科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】生物群集と生態系についてを理解するとともに、個体群内や異なる種の個体群間の関係、生態系と物質生産と物質循環、人間生活と生態系について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度をもって科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎演習

教 科： 理科 科 目： 物理基礎演習 単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 選択
教科担当者：西 雄樹
使用教科書：（ 第一学習社 高等学校 新物理基礎 ）
教科 理科 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】物理現象をを日常生活と関連付けて考えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】物理に関わる事象について積極的に学習し、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・物体の運動と様々なエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。	・物体の運動と様々なエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。	・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。 ・学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○電気（電荷と電流） 【知識及び技能】 電気の性質とそのエネルギーについて、日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 電気の性質やそのエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 電流と電気抵抗 抵抗の接続 電力量と電力 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・電気の性質とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・電気の性質とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	○電気（磁場、交流） 【知識及び技能】 磁場、並びに交流の性質とそのエネルギーについて、日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 磁場、並びに交流の性質やそのエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 磁場 モーターと発電機 交流の発生と利用 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・磁場、並びに交流の性質とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・磁場、並びに交流の性質とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学 期	○エネルギーとその利用 【知識及び技能】 エネルギーの利用を日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常のエネルギー、並びに原子に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 太陽エネルギーの利用 原子核と放射線 原子力とその利用 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・エネルギーの利用を日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・様々なエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、エネルギーの利用に関して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	○熱（熱とエネルギー） 【知識及び技能】 熱とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 温度と熱 熱平衡 熱量の保存 物質の三態 熱と仕事 エネルギーの変換と保存 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・エネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・物体のエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	○力と運動の法則 ○仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。	・指導事項 力と質量 いろいろな力 力の合成と分解 力のつりあい 運動の3法則 運動エネルギー 仕事とエネルギー	【知識・技能】 ・物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。				
	定期考査			○	○		1

3 学 期	則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	位置エネルギー 力学的エネルギー ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		合計 70

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（A組～G組 男子 倉口・石塚） （A組～G組 女子 脇山・橋本）

使用教科書：（ ）

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】

各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 体育理論 【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	スポーツの歴史的発展と多様な変化 現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響	【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	F 武道 【知識及び技能】技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	基本動作 姿勢・組み方・すり足・歩み足・継ぎ足 受け身 横受け身、後ろ受け身、前回り受け身 固め技の連絡 けさ固め、横四方固め、上四方固め 投げ技 小内刈り・大内刈り・釣り込み腰・背負い投げ 投げ技の連絡・固め技の連絡 自由練習や簡易な試合	【知識・技能】伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
	C 陸上競技 【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能身に付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】陸上競技の歴史や文化、技術の発展について理解し、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技の歴史や文化、技術の発展についての学習に自主的に取り組むこと。	試走 タイム測定 スタートから1台目までのアプローチ 振り上げ脚 インターバル	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズミカルに越すことができる。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。				

1 学 期	【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこ となどや、健康・安全を確保することができるようにする。		見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしよう とすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこ となどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	7
	D 球技 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするこ と、作戦などについての話合いに貢献しようとするこ と、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこ と、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	ネット型 バレーボール ベースボール型 ソフトボール	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするこ と、作戦などについての話合いに貢献しようとするこ と、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこ と、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	7
	E 水泳 【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこ となどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	水慣れ クロール 平泳ぎ スタート タイム測定	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 【思考・判断・表現】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこ となどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6

2 学 期	A 体育理論 【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	スポーツの歴史的発展と多様な変化 現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響	【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	B 球技 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	ネット型 バレーボール ベースボール型 ソフトボール ゴール型 ラグビー	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
	C 水泳 【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	クロール 平泳ぎ スタート タイム測定	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 【思考・判断・表現】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	D ダンス 【知識及び技能】感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすること。 【思考力、判断力、表現力等】表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	現代的なリズムのダンス リズムに乗って全身で自由に踊る まとまりを付けて踊る 発表や交流の様子	【知識・技能】ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8

3 学 期	A 体育理論 【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	スポーツの歴史的発展と多様な変化 現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響	【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	B 陸上競技 【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能身に付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするここと、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこことなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	20分間走 25分間走 30分間走 走るフォーム 呼吸法 ペースの作り方	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。長距離走では、ペースの変化に対応して走ることができる。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするここと、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	B 球技 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするここと、作戦などについての話合いに貢献しようとするここと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするここと、互いに助け合い教え合おうとするこことなどや、健康・安全を確保すること。	ネット型 バレーボール ベースボール型 ソフトボール ゴール型 ラグビー	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするここと、作戦などについての話合いに貢献しようとするここと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするここと、互いに助け合い教え合おうとするこことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（A 組：橋本 ） （B 組：橋本 ） （C 組：坂本 ） （D 組：石塚 ） （E 組：坂本 ） （F 組：石塚 ）
（G 組：坂本 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

科目 保健 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに技能を身につけるようにする。	健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	B 安全な社会生活 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の安全を考えそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。 定期考査	・事故の現状と発生要因 ・交通事故防止の取り組み ・安全な社会の形成 ・応急手当の意義と救急医療体制 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 上記 6 項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人 1 台端末を活用する。	【知識・技能】 学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活について自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して安全な社会づくりや応急手当について適切に判断、実施できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
				○			1
2 学 期	C 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。	・思春期と健康 ・性意識の変化と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠、出産と健康 ・家族計画 ・加齢と健康 ・高齢社会に対応した取り組み ・働くことと健康 ・労働災害の防止 ・働く人の健康づくり 上記 10 項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人 1 台端末を活用する。	【知識・技能】 学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代における健康課題とその予防及び対策について理解している。・特に現代の感染症とその予防、生活習慣病について十分理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	D 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の安全を考えそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。 定期考査	・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・健康被害を防ぐための環境対策 ・環境衛生に関わる活動 上記 4 項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人 1 台端末を活用する。	【知識・技能】 学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活について自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して安全な社会づくりや応急手当について適切に判断、実施できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
				○			1
	D 健康を支える環境づくり	・食品の安全性と健康	【知識・技能】				

3 学 期	【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の安全を考えそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。	・食品の安全性を確保する取り組み ・保健制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・様々な保健活動や対策 ・誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり 上記7項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人1台端末を活用する。	学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活について自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して安全な社会づくりや応急手当について適切に判断、実施できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
							合計
							35
	定期考査			○			1

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 芸術 科目 音楽

教 科： 芸術

科 目： 音楽

単位数：

単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ C 組

教科担当者：(ABC組：戸田) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書：(MOUSA2)

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意

【思考力、判断力、表現力等】個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができる

【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音

科目 音楽

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	ア・カペラに挑戦！ 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 個性豊かに音楽表現を創意工夫する	・コールユーブンゲン ・さんぽ（混声バージョン） ・各グループの選択曲	○				【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 個性豊かに音楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	12
	アンサンブル力を磨く 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】	・アルトリコーダー二重奏 ・キーボード三重奏		○			【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこと	○	○	○	10
	クラシック名曲鑑賞 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるよう					○	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についての理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	4
2 学 期	ギターで弾き語りの伴奏を作ろう 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】	教科書掲載曲を使用		○	○		【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこと	○	○	○	12
	クラシック名曲鑑賞 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるよう					○	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についての理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	4
	Jポップを歌おう！ 【知識及び技能】 よりよい発声の技能を身に付け、曲想にふさわしい表現を工夫して歌うことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本語の歌の歴史的な背景について理解し、より日本語が伝わる歌唱表	教科書掲載曲を使用使用					【知識及び技能】 日本歌曲に応じた発声の技能を身に付けている。 各教材の曲想にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本語の歌が明治時代以降にどのような変遷を辿ってきたかを理解し、日本語の歌を日本	○	○	○	6
3 学 期	題材：アンサンブルを楽しむ 【知識及び技能】 ミュージックベルの演奏の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 アンサンブルのよさを感じ取り、創意工夫して合奏する。 【学びに向かう力、人間性等】	ハンドベル曲集より選曲		○			【知識及び技能】 ミュージックベルの演奏の技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 アンサンブルのよさを感じ取り、創意工夫して合奏することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的にアンサンブルに取り組み、	○	○	○	8
	クラシック名曲鑑賞 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】					○	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についての理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を評価しながらよさや美しさを深く味	○	○	○	2

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 D,E 組

教科担当者： （DE組：田尻）

使用教科書： （ 日本文教出版）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に着け、意図に応じて表現方法を創意工夫し表せるよう育む。また、対象を据える造形的な視点について理解を深めさせる。

【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深められるよう導く。

【学びに向かう力、人間性等】美術や美術文化と豊かにかかわり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組む。

科目 美術Ⅱ		の目標：														
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】				【学びに向かう力、人間性等】								
・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表す。				造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。				主体的に美術の幅広い創造活動にとりくもうとしている。								
・対象を据える造形的な視点について理解を深めている。																
単元の具体的な指導目標				指導項目・内容				表現		評価規準		知	思	態	配 当 時 数	
								絵・ 彫	デ 映	鑑 賞						
1 学 期	A 単元 表現・鑑賞／絵画 【知識及び技能】 線や明暗による表現の効果、全体のイメージなどを捉え、鉛筆などの特性を生かし表現方法を創意工夫して表す。 作品を描いて得たものを、2分間で100文字以上に感想をまとめプレゼンを行う。 【思考力、判断力、表現力等】 対象から感じ取った印象などを基に、線や明暗による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 線や明暗による表現の効果を考え、工夫して表す創造活動に、主体的に取り組む。			○年間を通じて授業初めに、人物クロッキーを行い、ポーズを構成して身体の軸と重心を把握し、人体のプロポーション、ムーブマンを捉え、線と明暗で表現する。 10分 ロッキー 教材 クロッキーブック 6B鉛筆 一人一台端末の活用 等				○	○	○	【知識・技能】 「知」線や明暗による表現の効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて鉛筆などの特性や効果を生かし表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」対象から感じ取った印象などを基に、線や明暗による表現の効果考えたことなどから主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」線や明暗による表現の効果を考え、工夫して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表された線や明暗による表現の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	30
	B単元 表現・鑑賞/陶芸 【知識及び技能】 粘土の特性を理解して重心やバランスを考えて大きさや機能性、使いやすさも考慮して意図に応じて思いつきの形体ではなく表現方法を創意工夫して表す。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な良さや美しさを考え創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 粘土の特性を生かして作成する。ユニークなマグカップの表現方法の工夫などを紹介し合うことによって、お互いの創造力や独創性を感じ取る。また、見方や感じ方を深める表現や鑑賞の創造的な諸活動に主体的に取り組む。			○信楽の並白を用いて、手びねりによるデザイン性にとんだワクワクするようなマグカップを制作する。蓋つきでも良い。 クロッキーブック 6B 信楽の並白 陶芸道具 一人一台端末の活用 等							【知識・技能】 陶芸の粘土の特性に応じて重心やバランスを考えながら創意工夫し、釉薬の働きを理解して焼成後を見通して施釉をする。 【思考・判断・表現】 ワクワクするマグカップを考え表現の構想を練って取り組み、機能性を考慮しながら個性豊かで創造的に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 素焼き、本焼きを経た粘度の良さや美しさを感じ取る。造形を通して独創的でデザイン性に富んだユニークな表現を工夫して行い、立体を表す表現の創造的な諸活動に主体的に取り組込もうとしている。					
2 学 期	C 単元 表現・鑑賞／絵画 銅版画で表す。 【知識及び技能】 線や明暗、色彩などの特性や効果を捉え、版画の技法による表現方法を創意工夫して表す。 【思考力、判断力、表現力等】 想像や空想したイメージなどを基に、形体や色彩、配置、組み合わせなどの効果を考え、版画の技法による表現の特性や効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 空想や夢などから、心の中の世界を表す創造活動に、主体的に取り組む。版画の技法による表現の特性や効果を生かして表す創造活動に、主体的に取り組む。			○銅版画 この世にない不思議な世界を自由に表現する。 10cm×15cmのアルミ板を用いて表現する。 教材 アルミ板 版画用具 クロッキーブック 6B鉛筆 画用紙 一人一台端末の活用 等				○		○	【知識・技能】 「知」版画に見られる線や明暗、色彩などの特性や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。 「技」版画の技法の特性や効果を生かした表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」感じ取ったことや考えたことなどから、版画の技法による表現の特性や効果を生かして主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「態表」版画の技法による表現の効果を考え、工夫して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」版画の技法による表現の効果を考え、工夫して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。空想や夢などを基に心の中の世界を表す表現活動の創造活動に主体的に取り組込もうとしている。 「態鑑」版画作品に表された線や明暗、色彩などの効果を感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	28
	D 単元 表現・鑑賞／デザイン テーマ「花」アロマキャンドル 【知識及び技能】 パラフィンのもつ素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉える。			○アロマキャンドル テーマ「花」をテーマに自由に表現する。花の造形的な美しさだけでなく、重心やバランスを考え、創造的な表現の構想を練る。色のグラデーションや色彩構成を考える。							【知識及び技能】 「知」パラフィンのもつ素材の特質が感情にもたらす効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。					

3 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 表現素材としてのパラフィンのよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考える。 花のイメージを生かし、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 表現素材としてのパラフィンのよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。	教科 パラフィン クレヨン アロマキャンドル キャンドル制作用具一式 クロッキーブック 一人一台端末の活用 等	○	○	【思考力・判断・表現】 花のイメージを生かして主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「鑑鑑」表現素材としてのパラフィンのよさや美しさなどを鑑賞する創作的な諸活動に、取り組もうとしている。	○	○	○	12	合計 70
-------------	--	---	---	---	---	---	---	---	----	----------

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 芸術 科目 書道Ⅱ

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 教育出版 書道Ⅱ ）

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】自らの意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】自己の意図に基づく構想の実現のために表現の工夫に粘り強く取り組みむとともに感性を高める。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書を構成する要素、表芸性、表現効果や風趣等の視点から作品を創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫し、その上で必要となる効果的な技能を身につけるようにする。	書を構成する要素、表芸性、表現効果や風趣等の視点から自らの意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書のよさや美しさを味わい深く捉えられるようにする。	自己の意図に基づく構想の実現のために表現の工夫に粘り強く取り組みともに感性を高め、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

[illegible]

2 学 期	臨書 臨書作品の制作	・選文 ・双鉤填墨 ・半紙六字臨書 ・半切16字臨書			○	○	【知識・技能】 古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形の構成を生かした表現を身につけている。 歴史的背景や内容を理解している。				16	
	【知識及び技能】 各々が選択した古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	【思考力、判断力、表現力等】 古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫する。 古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉える。	【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う				【思考・判断・表現】 篆書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。				
3 学 期	隷書の学習 『乙瑛碑』『曹全碑』の鑑賞と臨書	・隷書の変遷と成立 ・臨書『乙瑛碑』 ・臨書『曹全碑』 ・半紙六字臨書			○	○	【知識・技能】 古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形の構成を生かした表現を身につけている。 歴史的背景や内容を理解している。				14	
	【知識及び技能】 隷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	【思考力、判断力、表現力等】 隷書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫する。 古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉える。	【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。				【思考・判断・表現】 篆書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。				
3 学 期	仮名の学習 「高野切」鑑賞と臨書	・仮名の変遷と成立 ・高野切第一種、第二種、第三種の比較と鑑賞 ・臨書『高野切第一種』 ・『高野切第一種』を素材とした小字による表現				○	○	【知識・技能】 書風と用筆・運筆について理解している。 日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。				10
	【知識及び技能】 古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫する。古筆の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉える。	【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。				【思考・判断・表現】 仮名の古筆や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古筆の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。				
3 学 期	漢字仮名交じりの書の学習	・同じ題材を用いて作品創作 ・自分で選文し作品創作			○	○	【知識・技能】 線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりについて理解している。				12	
	【知識及び技能】 目的や用途に則した表現、漢字と仮名の調和した表現の技能を身につける。	【思考力・判断力・表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成の則した表現形式、意図に基づいた表現について構成し、工夫する。	【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。				【思考・判断・表現】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成に則した表現形式、意図に基づいた表現について構成し、工夫している。	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				

[illegible]

英語コミュニケーションⅡ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の5領域を伸ばしていくうえで必要な文法事項を理解し、かつ必要な語彙を十分に身につけている。	まとまった文章を読んだり、学んだ文法事項や英単語から適切なものを選び組み合わせる能力、また題材や指示に従って、まとまりのある文章を論理的に組み立てることができる能力を養う。	他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話〔 ヤ 〕	話〔 発 〕書					
1 学 期	【知識及び技能】 本文の論理展開を理解している。を 理解し、実際に読んだり書いたり話 したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した準動詞を用い、知っている 単語をあてはめて実際に質問したり 答えたり会話を続けることができ る。またtopicにあった文章を書い たり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人 と関わり合う、主体的かつ協働する 姿勢が見られる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 言語材料（強調構文 / 倒置 / 省略 / 無 生物主語構文 / 未来完了形）を理解し、 実際に読んだり書いたり話したりしてい る。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した準動詞を使いながら、知ってい る単語をあてはめて実際に質問したり答 えたり会話を続けた。日本文化や南極の 動物などの知識から自分の考えを英語で 表現した。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、 主体的かつ協働する姿勢が見られた。ま た他者に伝えることを意識して、文章を 書いた。	○	○	○	17
	定期考査							○	○		1
	【知識及び技能】 言語材料（助動詞＋have＋過去分詞 / 進行形の受動態 / 完了形の受動 態 / 完了不定詞 / 完了動名詞 / be to do / 独立不定詞）を理解 し、実際に読んだり書いたり話したり することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した時制や受動態、関係代名詞 を使いながら、知っている単語をあて はめて実際に質問したり答えたり 会話を続けることができる。topic にあった文章を書いたり発表したり することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人 と関わり合う、主体的かつ協働する 姿勢が見られる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 言語材料（助動詞＋have＋過去分詞 / 進 行形の受動態 / 完了形の受動態 / 完了 不定詞 / 完了動名詞 / be to do / 独立 不定詞）を理解し、実際に読んだり書い たり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した現在完了形を使いながら、知っ ている単語をあてはめて実際に質問したり 答えたり会話を続けた。また世界で活 躍する日本人の活動を知り、芸術がもた らす人生の変化について考え、自分の考 えを英語で表現した。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、 主体的かつ協働する姿勢が見られた。ま た他者に伝えることを意識して、文章を	○	○	○	18
	定期考査							○	○		1
2 学 期	【知識及び技能】 言語材料（分詞が補語になる用法 / 分詞構文 / 先行詞を含む関係副詞 / 複合関係詞）を理解し、実際に読 んだり書いたり話したりすることが できる。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を使いながら、知っている単 語をあてはめて実際に質問したり答 えたり会話を続けることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 言語材料（比較の慣用表現）を理解し、 実際に読んだり書いたり話したりしてい る。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した文型や関係副詞を使いながら、 知っている単語をあてはめて実際に質問 したり答えたり会話を続けた。また言語				18
	【知識及び技能】 言語材料（比較の慣用表現）を理解 し、実際に読んだり書いたり話したり することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を使いながら、知っている単 語をあてはめて実際に質問したり答 えたり会話を続けることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 仮定法を理解し、実際に読んだり書い たり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した仮定法や付帯状況の表現、完了 形を用いた受動態や助動詞の表現を使 いながら、知っている単語をあてはめて 実際に質問したり答えたり会話を続けた。				19
3 学 期	【知識及び技能】 仮定法を理解し、実際に読んだり 書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 仮定法や付帯状況の表現完了形、用 いた受動態や助動詞の表現を使いな がら、知っている単語をあてはめて 実際に質問したり答えたり会話を続 けることができる。またtopicに あった文章を書いたり発表したりす ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人 と関わり合う、主体的かつ協働する 姿勢が見られる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 言語材料（比較の慣用表現）を理解し、 実際に読んだり書いたり話したりしてい る。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した文型や関係副詞を使いながら、 知っている単語をあてはめて実際に質問 したり答えたり会話を続けた。またAIを 例に科学技術の発展が生み出す長所や短 所、山田氏のバイオディーゼル燃料から 環境問題について考え、英語で自分の考 えを表現した。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、 主体的かつ協働する姿勢が見られた。ま た他者に伝えることを意識して、文章を				30
										合 計	140

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者： (A,E組：石川 善司) (B組：和田 兼二郎) (C,F組：吉岡 穰) (D,G組：中山 光)

使用教科書： (啓林館 Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope)

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 英語を読み、聞き、話し、書くうえで必要な文法、構文や語彙を身につける。また、言語背景にある文化や成り立ちについて知り、語学を切り口に日本以外の文化や世界への興味・関心を醸成する。

【思考力、判断力、表現力等】 英語を読み、聞き、書く中で適切な表現を知り、また活用することができる。

【学びに向かう力、人間性等】 未知の言語に対して間違いを恐れずに取り組むことができ、また語学がもつ曖昧さや複雑さに柔軟に対応し、他者との関わりに主体的で前向きな姿勢で臨んでいる。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語を読んだり、話したり、書いたりするうえで必要な英文法を体系的に学んで理解し、かつ必要な語彙を十分に身につけている。	学んだ文法事項や英単語から適切なものを選び組み合わせて単文を作る能力、また題材や指示に従って、まとまりのある文章を論理的に組み立てることができる能力を養う。	他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	時制 【知識及び技能】 英語の時制を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した時制を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。	Lesson1,3 主語と動詞の把握 Dictationの確認にBYODを活用						【知識及び技能】 英語の文の文型を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した文の種類や文型を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けた。またtopicにあった文章を書いたり発表したりした。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られた。また他者に伝えることを意識して、文章を書いた。				6
	受動態 【知識及び技能】 英語の受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。	Lesson2 主語と動詞の把握および受動態 Dictationの確認にBYODを活用						【知識及び技能】 英語の受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した受動態を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けた。またtopicにあった文章を書いたり発表したりした。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られた。また他者に伝えることを意識して、文章を書いた。				6
	定期考査及び解説											2
	助動詞 【知識及び技能】 英語の助動詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。	Lesson4 動詞の把握および助動詞 Dictationの確認にBYODを活用						【知識及び技能】 英語の助動詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した助動詞を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けた。またtopicにあった文章を書いたり発表したりした。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られた。また他者に伝えることを意識して、文章を書いた。				6
	仮定法 【知識及び技能】 英語の仮定法を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 仮定法を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。	Lesson9 仮定法 Dictationの確認にBYODを活用						【知識及び技能】 英語の仮定法を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した仮定法を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けた。またtopicにあった文章を書いたり発表したりした。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られた。また他者に伝えることを意識して、文章を書いた。				6

[illegible]

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教 科： 家庭 科 目： 家庭基礎 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 組～ 組
教科担当者：（A組～G組： 轟 ）
使用教科書：（ 家庭基礎 気づく力 築く未来【実教出版】 ）

教科 家庭 の目標：
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わり
【知識及び技能】について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする
家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う
【思考力、判断力、表現力等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う
【学びに向かう力、人間性等】

科目 家庭基礎	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	発達課題 【知識及び技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う	初回オリエンテーション・発達段階と発達課題	【知識・技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	2
	食生活 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 定期考査	食生活の問題点 食生活の変化 5大栄養素のはたらきと多く含まれる食品 出汁 食品衛生 調理実習① 調理実習②	【知識・技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	21
				○	○		1
	家族関係 【知識及び技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割果たし家庭を築くことの重要性について考察する 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や保育	家族に関する法律 家庭生活を営む	【知識・技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について	○	○	○	3
	【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解	子どもの発達と子どもの生活 子どものための社会福祉	【知識・技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるため基礎的な技能を身に付けてい				

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

单位数： 1 单位

A組～G組

使用教科書： 人間と社会

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】自己と社会のかかわりから課題を見つけ、情報を分析し、その解法と他者に向けての表現ができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】人間と社会に積極的・協働的に取り組み、主体性をもった人間性を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
本校の目標でもある「文武二道」を踏まえ、人間と社会の意義を理解して課題の発見と解決に必要な技能を身につける	自己と社会のかかわりから課題を見つけ、情報を分析し、その解法と他者に向けての表現ができるようにする	人間と社会に積極的・協働的に取り組み、主体性をもった人間性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 学習や進路選択、学校行事や部活動などを通して人間と社会が深く関わっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 組織的に行動するためのコミュニケーションを養い自身の役割を判断する。身近な「困っている人」を助ける企画をする。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働し、積極的にコミュニケーションをとる。自身の進路や学習面の課題を見出し、解決しようとする。	・指導事項 身近な「困っている人」を助ける企画をする。 ・教材 SOCIAL CHANGE(教育と探求社)、外部講師を招いての講演や体験型プログラムの実施	【知識・技能】 学習や進路選択、学校行事や部活動などを通して人間と社会が深く関わっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 組織的に行動するためのコミュニケーションを養い自身の役割を判断している。身近な「困っている人」を助ける企画をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者と協働し、積極的にコミュニケーションをとれる。自身の進路や学習面の課題を見出し、解決しようとしている。	○	○	○	12
2 学 期	B 単元 【知識及び技能】 社会を変えるチェンジメーカーを知る。また、効果的なプレゼンテーション方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 組織的に行動するためのコミュニケーションを養い自身の役割を判断する。進路実現のための研究と計画を実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働し、積極的にコミュニケーションをとる。自身の進路や学習面の課題を見出し、解決しようとする。	・指導事項 文理選択や大学についての情報収集と目標設定、進路に関する探究、英語の学力向上、自分らしい生き方を見つける講演、 ・教材 模擬試験・模擬試験解答、英語教材、インターネット、一人1台端末の活用等、外部講師を招いての講演や体験型プログラムの実施	【知識・技能】 学習や進路選択、学校行事や部活動などを通して人間と社会が深く関わっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 組織的に行動するためのコミュニケーションを養い自身の役割を判断している。進路実現のための研究と計画を実践している。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者と協働し、積極的にコミュニケーションをとれる。自身の進路や学習面の課題を見出し、解決しようとしている。	○	○	○	14
3 学 期	C 単元 【知識及び技能】 学習や進路選択、学校行事や部活動などを通して人間と社会が深く関わっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 組織的に行動するためのコミュニケーションを養い自身の役割を判断する。進路実現のための研究と計画を実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働し、積極的にコミュニケーションをとる。自身の進路や学習面の課題を見出し、解決しようとする。	・指導事項 人間と社会の教科書を用いての個人探究やグループワーク、外部講師による講話や体験活動、 ・教材 人間と社会の教科書、模擬試験・模擬試験解答、インターネット、一人1台端末の活用等、外部講師を招いての講演や体験型プログラムの実施	【知識・技能】 学習や進路選択、学校行事や部活動などを通して人間と社会が深く関わっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 組織的に行動するためのコミュニケーションを養い自身の役割を判断している。進路実現のための研究と計画を実践している。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者と協働し、積極的にコミュニケーションをとれる。自身の進路や学習面の課題を見出し、解決しようとしている。	○	○	○	9
							合計
							35